



あ

【この寺院を訪れると、もくもくと掃除している修行の小僧さんの姿がいつもあり、微笑ましいのだ】

ラヨーンからバンコクに向う国道沿いの丘の上に、優しさと静寂が漂い、いつも癒される私のお気に入りの寺院がある。今回の旅に同伴した妻にもこのお寺を見せておきたく、車を停めて寄ってみた。

参道を登り境内に入り驚いたのは、巨大な涅槃（ねはん）の像が現れたことだ。

以前はなかったものである

クレーンもまだ残っており、完成直後なのかもしれない。

大きなお目をぱちっと開き、そのまつ毛は頬に影を落とすほど長い、……なんと可愛いらしい。

仏様といえば通常、無表情であり、日本のも、タイの有名な寺院のもみなそうである。

これらを見つけてきている目からは、なにか違和感があるのは否めない。

でも、じっと見続けていると、親しみがこみ上げてきて、仏様の慈悲の心も伝わってくるではないか。

この寺院の檀家の人々の総意で建造された仏様であり、皆の心の支えになるものに違いない。

ここの人々が、この仏さまと共に末永く幸せに暮らしていくことに思いをはせながら、このお寺を後にした。

【追記】

この日はタイ下院議員の総選挙日、この寺院も、投票会場となっており、順番を待つ多くの人々の列ができていた。軍事政権下にあるタイの将来を決める重要なものであり、世界の注目を集めての選挙でもある。